

François Frédéric GUY

Piano Recital

フランソワ＝フレデリック・ギイ

1969年生まれ。パリ高等音楽院でD.メルレ、C.イヴァルディに師事し、首席で卒業。その他L.フライシャー、M.ペライアらのもとで研鑽を積んだ。1999年、W.サヴァリッシュの指揮でパリ管弦楽団と共演でデビューし、さらにその翌年のルツェルン音楽祭でB.ハイティンクの指揮するロンドン・フィルと共演し一流ピアニストとしての評価を確立した。

これまでにフィルハーモニア管、ミュンヘン響、フランス放送フィル、サンフランシスコ響、チューリッヒ・トーンハレ管などの著名なオーケストラに定期的にゲスト出演。また、E=P.サロネン、大野和士、P.ジョルダン、D.ハーディング、N.ヤルヴィ、P.ベルグルンド、M.ティルソン・トーマス、K.ナガノなどと共演している。世界中の名門コンサートホール、そしてラ・ロック＝ダンテロン国際ピアノフェスティバル等の名音楽祭にも招かれている。

現在ではドイツロマン派、とりわけベートーヴェンのスペシャリストとして広く知られ、「ベートーヴェンは音楽のアルファでありオメガである」と語るほどこの作曲家を敬愛している。2008年より5年間にわたりベートーヴェンのソナタとピアノ協奏曲の全曲演奏会とライブ録音プロジェクトに取り組み、ジグザグ・テリトワール(仏)より一連の録音をリリース。軒並み高い評価を受けた。

室内楽奏者としても活躍。特に近年ではベートーヴェンのチェロ・ソナタ全曲の再録音(チェロはグザヴィエ・フィリップ、仏 Evidence 盤)がグラモフォン誌(英)のベスト・ベートーヴェンCDの一つとして、往年の数々の名盤をも押さえて選出された。現代音楽分野でも多くの作品の世界初演を手掛けているほか、指揮者としてシンフォニア・ヴァルソヴィア等のオーケストラと、ベートーヴェンの協奏曲全曲の弾き振りも行っている。

本年5月には、12年ぶりにラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン(東京)への出演が決定。また、6月に武蔵野市民文化会館でドレスデン・フィルと「皇帝」協奏曲を共演する予定。

格調高く、そして極めて個性的…
(ガーディアン紙)

崇高な演奏…
聴きに行ったほうがいい
(インディペンデント紙)



Photo: Benjamin de Diesbach

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集

会員登録していただいたフレンズ会員様は
一般発売より先行してチケットをご購入頂けます

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

■交通アクセス
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック

宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsughall.com
URL www.munetsughall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~18:00
年中無休 (年末年始、施設メンテナンス日を除く)